

「ゾンビ化のタイムリミット」 日中バランスシート不況 徹底比較

TK MAX 金融・経済レポート
The Domino Effect & Future Scenarios

Website <https://tk-max-site.vercel.app/> ・ X https://x.com/TK_MA55 ・ Email tk_max@ymail.ne.jp

法則：バランスシート不況のメカニズム



※提唱者：リチャード・クー氏の理論に基づく構造的罣

決定的な違い：不況の「主役」は誰か？

項目	日本（1990年代～）	中国（現在）
危機の主役	民間セクター（Private）	公的セクター（Public）
主なプレイヤー	銀行・一般企業	地方政府・LGFV（融資平台）
その後の展開	企業投資の長期停滞	？？？（未踏の領域）

直面する現実：巨大な債務と財源の枯渇

巨大な債務の乖離 (The Debt Gap)

約60兆元

- IMF推計 LGFV債務：(GDP比 47.6%)
- 中国政府定義の「隠れ債務」：14.3兆元

(※2023年末時点推計)

財源の喪失 (The Revenue Collapse)

65% 減少

- 住宅用地の売却収入：

(※2020年～2025年 5年間ピーク比)

实体经济への波及：雇用と所得の停滞

若年層（16～24歳）失業率の悪化



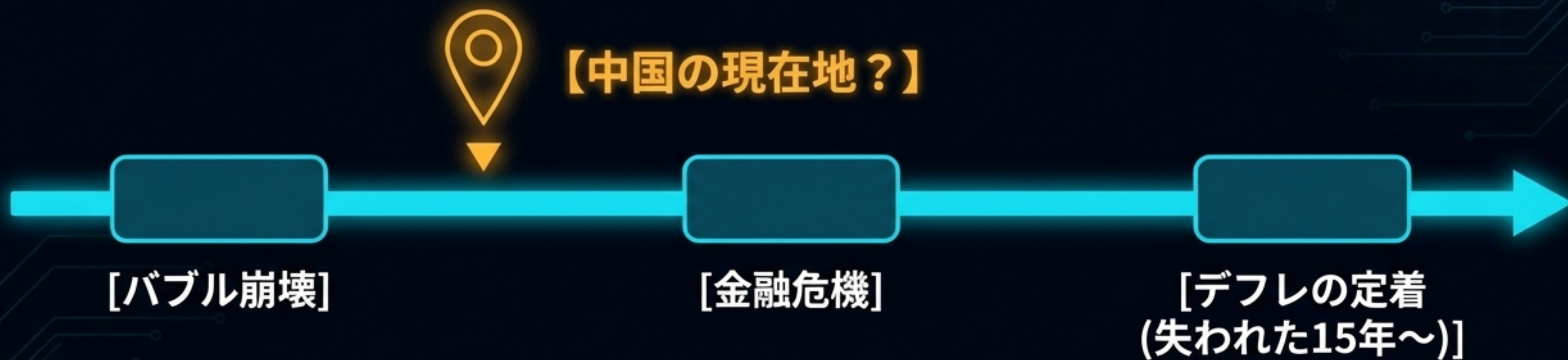
- 2026年7月：17.9%
- 2026年8月：**18.9%**（過去最悪を更新との報道）

地方公務員の待遇低下



- 「2回昇進したのに年収が2割減った」との報道例が頻発
- ※参考：日本の国家公務員給与も1997年を実質ピークに長期停滞へ

現在地：「デフレ罨ルート」のどこにいるのか？



※「デフレ罨ルート」上における中国の現在地の評価は、TK MAXによる一つの仮説であり、確定した事実ではありません。

戦略の核心：不良債権の「凍結（ロールオーバー）」



問題は解決されず、循環し続ける構造。

タイムリミット：この「凍結」はあと何年続くか？

[入力パラメータ (Variables)]

制御レバー ①：土地売却収入の減少率



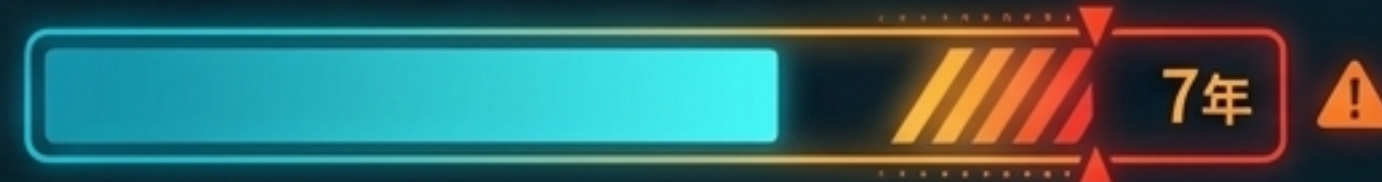
制御レバー ②：中央政府の追加支援・借換対応度



*(※2024年11月、約10兆元の地方債務借換枠を発表)

[出力結果 (Output)]

ロールオーバーの「耐用年数 (タイムリミット)」



日本の不良債権処理が実質的に完了するまでの期間：約15年

グローバルな教訓：韓国とスペインの解決プロセス

国・時期	解決までの期間	アプローチ	決定的な要素
韓国 (1997 アジア危機)	約3～4年	財閥解体・不良債権 一括処理	IMFによる 融資条件
スペイン (2008 債務危機)	約5年	銀行国有化・再編	EUトロイカの 支援条件

▶ 共通点：外科手術を強制した「外部からの力」の存在

中国の特異性：欠落する「処理を強制する力」

保有しているもの (Strengths)

- ✓ 共産党の強力な統制力
- ✓ 対外純債権国という財務的余裕
- ✓ 国有金融機関を利用した制度的柔軟性

欠落しているもの (The Missing Pieces)

- ⚠ 市場による自律的な価格発見・情報開示
- ⚠ IMFやEUのような「外部から処理を強制する力」



2つの視座：この「凍結」は何をもたらすのか？

見方 A：合理的な時間稼ぎ



強力な統制力と財務的余裕を活かし、時間を買うことでシステム崩壊をソフトランディングさせる戦略。

見方 B：ゾンビ化の長期化と先送り



問題は消えず、ゾンビ化した地方政府・企業の借換需要が金融機関を縛り、実質金利上昇などの新たな弊害を生む。

パズルを組み立てるのは、あなた自身です



これらをどう結びつけ、どのようなドミノの連鎖を描くか。
未来シナリオの判断は、視聴者の皆様に委ねられています。

免責事項 (Disclaimer)

本ページ・本音声は、公開されている報道・公的機関の推計に基づく独立した分析・研究目的のコンテンツであり、投資助言・政策提言を目的としたものではありません。内容の正確性を保証するものではありません。

延命コスト試算シミュレーターの数値は、TK MAXによる独自の教育・研究用簡易モデルによる試算であり、将来予測ではありません。

「デフレ罨ルート」上における中国の現在地の評価は、TK MAXによる仮説であり、確定した事実ではありません。

音声・スライドはAIツールによる自動生成コンテンツです。